

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和7年度報告)

市町名: 庄原市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価					
										獣種	被害金額				被害面積				処理頭数				
											現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値		達成率	現状値	目標値	実績値	達成率
庄原市有害鳥獣対策協議会	庄原市	令和6年度	イノシシ	WM柵の設置	L=25,300m		R7.3	100%	侵入防止柵・箱わなの設置による一定の効果は出てきているが、イノシシの個体数が増加とともにニホンジカの個体数も増加傾向にあり捕獲頭数も年々増加している。このため、ニホンジカにも対応した箱わなを導入し捕獲対策を強化している。	イノシシ	3140	2480	3117		27.5	19.8	30.8		本市において鳥獣被害は、平成22年度のイノシシ大量出沒による農作物被害の急増に伴い、本事業に取り組んできた。その結果、本事業の効果もあり、鳥獣被害は26年度には急激に減少し、以降は横ばい傾向にあった。侵入防止柵・箱わなの設置による一定の効果は出てきているが、平成30年から令和2年はイノシシによる農作物被害が増加し、令和2年からはシカによる農作物被害も散見され始めた。 今後も、個体数の管理、環境整備及び学習会の開催などソフト面の充実を図る。				
				箱わなの導入 イノシシ用2基 イノシシ・ニホンジカ用5基	7基		R7.3	100%															

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2)達成率の算出方法については「実績値(=基準年値-実績値)÷目標値(=基準年値-目標値)」であるとして算出してください。

注3)被害防止計画の目標と実績の処理頭数の欄については、「ジビエ等の利用拡大に向けた地域の取組(販売拡大支援)」のメニューを活用した場合に記載してください。

2 第三者の意見

コメント: 渡辺浩毅(広島県北部農林水産事務所林務第一課長)  
 侵入防止対策や加害個体の捕獲により、イノシシによる被害が最大時から大きく減少し、一定の成果を上げられていますが、イノシシによる被害はなお高水準にあり、また、分布が拡大しているニホンジカによる被害も発生しているため、環境改善をはじめ必要な知識の普及を図りながら、引き続き被害防止対策に取り組む必要があると考えます。

注)第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。

」